

2008年(平成20年)10月9日 木曜日

仏教再興

曹源寺輩出の僧貢献

おかやま適塾 原田住職が講演

地元で活躍する著名人の講演を通し、郷土の未来を考える「第三十六回おかやま適塾」が八日、岡山市柳町一丁目、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、曹源寺(同市円山)の原田正道住職が、江戸時代から明治期における仏教の再興をテーマに講演した。

原田住職は、曹源寺が江戸から明治期にかけて、弟子教育に力を入れ、何人も名僧を輩出したことを紹介。「次の世代にいかによい人材を残すかを考えたのだろう。それは社



仏教の再興をテーマに話す原田住職

会に貢献していくという日本の仏教の教えそのものだった」と強調した。

明治維新後の一時期、仏教が廃れた歴史を指摘した上で、「新政府には『仏教は外から持ち込まれたもの』という考えがあったのだろうが、曹源寺が輩出した名僧たちの働きかけにより仏教再興につながった」と述べた。

(井上光悦)